

# 総合地域医療研修センター支援プロジェクト 「診療に役立つ漢方治療の知識・技術を系統的に学ぶセミナー」

現在、様々な症状、疾患に対して漢方治療が医療の現場で行われています。しかしながら、こういった知識や技術を系統的に学ぶ機会が少ないのが現状です。このセミナーでは、大きく5つに分けて、**講義、実習、症例検討**を踏まえた系統的学習を半年間かけて行います。

- |              |                     |
|--------------|---------------------|
| 1) 漢方薬とは     | －生薬、煎じ薬、エキス剤の理解と活用－ |
| 2) 漢方薬の科学的評価 | －エビデンスに基づく漢方薬処方－    |
| 3) 領域別臨床応用   | －症状、病名から考える漢方処方－    |
| 4) 漢方医学概論    | －基本的な漢方の診断方法－       |
| 5) 東洋医学の応用   | －漢方と鍼灸の活用－          |

最終的に西洋医学の診断に基づいた病態に漢方治療を追加できる考え方、その技術の習得を目的としています。

- ・**対象**:院内外の医師・研修医、薬剤師、看護師、医学部生、薬学部生、看護学生等
- ・いずれの講義にご参加いただいても結構ですが、物品準備の都合上、**事前登録**とさせていただきます。(1回の定員は12名程度)
- ・ご参加希望の方は、**氏名/所属/メールアドレス等連絡先をメールアドレスにお送り下さい。** E-mail: [takayama@med.tohoku.ac.jp](mailto:takayama@med.tohoku.ac.jp)
- ・直近の予定は、総合地域医療研修センターホームページ(<http://www.ctc.med.tohoku.ac.jp/>)からご確認下さい。

### 受講の仕方について

- ・西洋医学の考え方で漢方薬を学びたい方  
→1), 2), 3)の予定日にご参加下さい。
- ・漢方医学の基礎、診断方法等を学びたい方  
→4)の予定日にご参加下さい。
- ・鍼灸を含めた東洋医学を学びたい方  
→5)の予定日にご参加下さい。



開催場所:スキルスラボ(長陵会館) 5階グループ学習室  
日時:隔週水曜日の18:30-20:00  
連絡先:総合地域医療教育支援部医局(内線:7587)  
実習担当)高山/(事務担当)小林

※お申込みいただいた個人情報は厳重に管理の上、当セミナー関連以外に使用することはありません。

## セミナースケジュール

予定	ショートレクチャー(20分)	実習(40分)	症例検討
1) 生薬、煎じ薬、エキス剤の理解と活用① (10月16日)	生薬の知識	エキス、煎じ薬(補気剤) 六君子湯	供覧
1) 生薬、煎じ薬、エキス剤の理解と活用② (10月30日)	煎じ薬の知識	エキス、煎じ薬(補気剤) 補中益気湯	供覧
1) 生薬、煎じ薬、エキス剤の理解と活用③ (11月13日)	漢方薬選択、エキス剤の活用	エキス、煎じ薬(気血双補剤) 十全大補湯	供覧
2) エビデンスに基づく漢方薬処方(11月27日)	薬理、臨床研究①	エキス、煎じ薬(温裏剤) 大建中湯	供覧
2) エビデンスに基づく漢方薬処方(12月11日)	薬理、臨床研究②	エキス、煎じ薬(利水剤) 五苓散	供覧
2) エビデンスに基づく漢方薬処方(1月8日)	薬理、臨床研究③	エキス、煎じ薬(滋陰剤) 麦門冬湯	供覧
3) 病名、症状から考える漢方処方(1月22日)	がん治療	エキス剤、煎じ薬(清熱剤) 黄连解毒湯	供覧
3) 病名、症状から考える漢方処方(2月5日)	感冒、気管支炎	エキス剤、煎じ薬(解表剤) 葛根湯	供覧
3) 病名、症状から考える漢方処方(2月19日)	疼痛疾患	エキス剤、煎じ薬(補腎剤) 牛車腎気丸	供覧
3) 病名、症状から考える漢方処方(3月5日)	婦人科疾患	腹診シミュレーション	供覧
3) 病名、症状から考える漢方処方(3月19日)	不定愁訴	エキス、煎じ薬(駆瘀血剤) 桂枝茯苓丸	供覧
3) 病名、症状から考える漢方処方 (以降は調整中)	消化器疾患	エキス剤、煎じ薬(瀉下剤) 桃核承気湯	供覧
4) 基本的な漢方の診断方法	漢方医学診断、治療の全体像	問診表記入→漢方薬を予想	供覧
4) 基本的な漢方の診断方法	陰陽虚实表裏寒熱、舌診	舌診(画像供覧、お互いに)	供覧
4) 基本的な漢方の診断方法	気血水、脈診	脈診(お互いに)	供覧
4) 基本的な漢方の診断方法	五臓論、腹診	腹診(お互いに)	供覧
5) 漢方の臨床応用	漢方薬から考える鍼灸配穴①	身体所見から診断する(四診合算)	供覧
5) 漢方の臨床応用	漢方薬から考える鍼灸配穴②	身体所見から診断する(四診合算)	供覧
5) 漢方の臨床応用	症例から考える漢方薬、鍼灸配穴	身体所見から診断、治療を考える(補中益気法)	供覧
5) 漢方の臨床応用	症例から考える漢方薬、鍼灸配穴	身体所見から診断、治療を考える(十全大補法)	供覧